

遠隔ディスカッション能力の熟達化過程に基づいた適応的グラウンド・ルールの開発

■ 教養力育成センター 教授 中野 美香

○ 研究分野：教育工学、コミュニケーション学、教育心理学、認知科学

○ キーワード：議論、熟達化、高等教育、コミュニケーション、遠隔、人工知能

I 研究概要

本研究室では、知の基盤となる領域横断的な人間の思考や相互作用に着目し、以下の研究を行っている。

- (1) 他者との相互作用による思考過程の影響
- (2) 学習が最適化される学習環境づくり
- (3) 議論教育プログラム・カリキュラム開発
- (4) オンラインメディアにおけるコミュニケーション/NIE (Newspaper in Education)
- (5) 大学生の発達とジェンダー
- (6) STEAM教育/教養教育における学習・適応支援
- (7) アントレプレナーシップ教育

近年は、デジタルデバイドの解消やインクルージョンの価値浸透を目指し、遠隔ディスカッションの熟達化過程に基づいた適応的グラウンド・ルールの開発に従事している(科研費基盤C、課題番号22K02849:代表者 中野美香)。

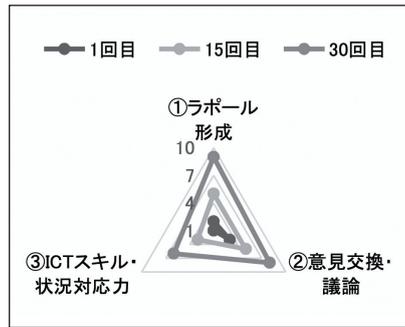


図1: 3つのフェーズの熟達化(例)

フェーズ・カテゴリ	グラウンド・ルール
多様性	違いを尊重し協力する
① 表情	にこやかな笑顔を心がける
感情	ポジティブな感情を共有する
時間管理	全体の時間配分を確認する
② 話し方	きはきはきと明瞭に話す
主張	根拠や例を示す
アイコンタクト	目が合うようにカメラを見る
③ トラブル対応	困ったら助けを求める
チャット	チャットで記録を残す

表1 レベル1: 初歩のGRの抜粋(例)

代表著作:

- 中野美香 (2023) 『プレゼンテーション教育ハンドブック: VUCAの克服のために』 ナカニシヤ出版
 中野美香 (2018) 『大学生からのグループ・ディスカッション入門』 ナカニシヤ出版
 中野美香 (2014) 『ディスカッション: 学問する主体として社会を担う』 田島充士・富田英司(編著) 『大学教育: 越境の説明を育む心理学』 ナカニシヤ出版
 中野美香 (2012) 『大学生からのプレゼンテーション入門』 ナカニシヤ出版
 中野美香 (2011) 『議論能力の熟達化プロセスに基づいた指導法の提案』 ナカニシヤ出版 (平成22年度科学研究費補助金学術図書、課題番号225181: 代表者 中野美香)
 中野美香 (2010) 『大学1年生からのコミュニケーション入門』 ナカニシヤ出版

I 利点特徴

- ・初年次教育、プレゼンテーション教育、専門教育、卒業研究など学習段階・状況に適した教育プログラムの提案
- ・多様化する教育へのニーズに対応することができる理論と実践を融合するデザイン研究
- ・社会課題の解決につながる個別最適かつシームレスなコミュニケーションの創出/共創・協創の価値の浸透を目的

I 応用分野

- ・カリキュラム・教育プログラム、教育手法の開発(幼・小・中・高)
- ・企業研修、教育コンサルテーション
- ・人工知能を用いたコミュニケーションの評価のための分析手法の開発・解析

